２０２５年度
環境経営レポート

対象期間2025年4月～2026年3月

2026年5月28日発行

株式会社　東北マツダ

目次

1．組織の概要 1P

2．対象範囲及び実施体制 2～3P

3．環境経営方針 4P

4．環境経営目標 5P

5．環境活動計画 6P

6．2025年トピックス 社会貢献活動など 7～8P

7．環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容 9～10P

8．環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無 11P

9．代表者による全体評価と見直しの結果 12P

１．組織の概要

１．事業社名及び代表者

株式会社 東北マツダ

代表取締役　池田　保之

２．所在地

宮城県仙台市宮城野区小田原一丁目３番２３号

３．事業内容

自動車、その他部品及び附属品の販売並びに修理

４．事業の規模(2026年3月末時点)

拠点数	３2拠点	秋田県	５拠点
		岩手県	５拠点
		宮城県	１６拠点
		山形県	６ 拠点
対象拠点数	全拠点		
従業員数	６０１名（2026年3月31日現在）		
年間売上高	230億9千万円（2026年3月末）		
資本金	３億４千８百万円		
ホームページ	http://tohoku-mazda.co.jp		

５．環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	執行役員 太田千鶴子 / 高橋　寿和
ＥＡ２１推進委員	管理部総務グループ　駒田　大輔
連絡先	022－297－2122

2－1．対象範囲及び実施体制

・秋田県

大館店	017-0864	大館市根下戸新町19-74
秋田本店ULC店	010-0916	秋田市泉北1-1-2
秋田本店	010-0965	秋田市八橋新川向15-39（秋田本部・鈑金塗装センター 併設）
横手店	013-0811	横手市安本字南御所野156-6
本荘店	015-0013	由利本荘市石脇字田尻野24-19

・岩手県

都南店	020-0837	盛岡市津志田町1-5-8（岩手本部 併設）
上堂店	020-0125	盛岡市上堂4-8-8
北上店	024-0004	北上市村崎野22-133-3
水沢店	023-0003	奥州市水沢区佐倉河字嶋舘21-1
一関店	021-0051	一関市山目三反田7-1

・宮城県

泉店	983-3117	仙台市泉区市名坂字御釜田121-1
日の出店	983-0035	仙台市宮城野区日の出町1-1-31
名取店	981-1224	名取市増田5-17-16
石巻店	986-0856	石巻市大街道南1-2-96
佐沼店	987-0511	登米市迫町佐沼字萩洗2-3-8
南吉成店	989-3204	仙台市青葉区南吉成2-17-6
小田原店	983-0803	仙台市宮城野区小田原1-3-23（本社、宮城本部併設）
長町店	982-0023	仙台市太白区鹿野3-15-43
六丁目店	984-0004	仙台市若林区六丁の目東町7-21
多賀城店	985-0874	多賀城市八幡2-16-36
古川店	989-6104	大崎市古川江合錦町2-3-3
柴田店	989-1604	柴田郡柴田町船岡東1-7-13
古川ﾕｰｶｰﾗﾝﾄﾞ	989-6171	大崎市古川北町5-3-3
富谷店	981-3328	富谷市上桜木1-1-9

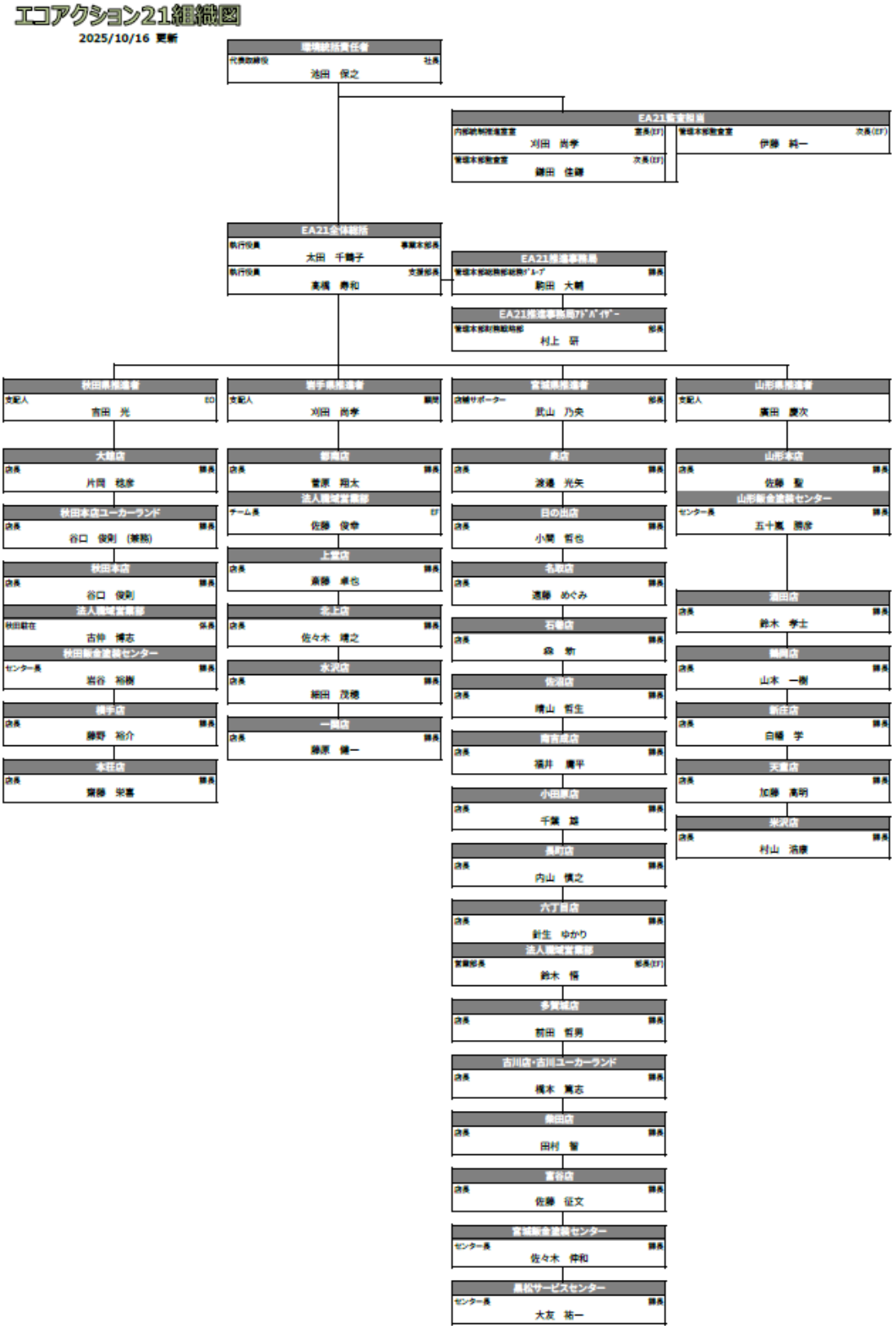
宮城		
板金塗装ｾﾝﾀｰ	983-0034	仙台市宮城野区扇町2-4-19
黒松ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	981-0902	仙台市青葉区北根2-8-20

・山形県

山形本店	990-0835	山形市荒楯町2-1-80（山形本部・山形鈑金塗装センター 併設）
酒田店	998-0832	酒田市両羽町6-22
鶴岡店	997-0046	鶴岡市みどり町16-36
新庄店	996-0041	新庄市鳥越字玉の木960
天童店	994-0027	天童市桜町10-1
米沢店	992-0011	米沢市中田町2-1800

※対象範囲は、上記全拠点・全事業活動です。

2－2. 対象範囲及び実施体制



3．環境経営方針



環境経営方針

基本理念

株式会社東北マツダは自動車販売、整備等の事業活動を通じ、すべての笑顔のために、確かな技術と感動を与えるサービスの提供によるブランド価値向上を目指すとともに、環境経営の継続的改善により環境への負荷の軽減に取り組み、地域環境・地球環境の保護に貢献いたします

環境保全に向けての活動指針

- 地球温暖化防止に向け二酸化炭素排出量削減・省エネルギーへの取り組みをする
- 循環型社会に向け、使用済み自動車・廃棄物リサイクルの推進をする
- 事業活動に適用される環境関連法規その他要求事項を遵守する
- 顧客価値、社内価値、企業価値を高め、ブランド価値向上に邁進する
- 環境保全上の支障を未然に防止する為、使用する化学物質の適正管理を徹底する
- 限りある資源を大切にする為、省資源・節水に努める
- 働きやすい環境の創生、従業員の環境意識向上ともに、地域貢献活動により地域社会との融和を図る
- 全従業員に、この環境経営方針を周知徹底するとともに、環境報告書を作成・公表する

2010年4月1日制定

2026年4月１日改定

株式会社 東北マツダ

代表取締役　太田　千鶴子

４．環境経営目標

株式会社 東北マツダ

2025年度

環境経営目標

働き方改革を推進して環境負荷軽減に貢献する

年間総残業時間　昨年実績 ▲0.3%　49,823時間
1人当たり年間総残業時間 昨年実績 ▲12分　99.3時間

次年度以降は実績に応じ目標設定をする

CO2・産業廃棄物排出量・水使用量を前年実績から0.5%削減する

項目	単位	2025年度目標
二酸化炭素排出量	kg-CO2	3,004,777
廃棄物排出量	kg	776,262
水使用量	m^3	16,245

環境保全上の支障を未然に防止する為、使用する化学物質の適正管理を徹底する

承認	作成
環境管理責任者	EA21推進事務局

作成日：2025/5/20

5．環境活動計画

2025 年度　環境活動計画

地球温暖化防止に向け二酸化炭素排出量削減・省エネルギーへの取り組みをする

主要項目である電力使用量の削減に対する取組

メジャーサイン点灯・消灯時間の管理徹底

バックヤード照明の休憩時間消灯

クールビズ・ウォームビズ実施の継続

循環型社会に向け、使用済み自動車・廃棄物リサイクルの推進をする

ELV（使用済み自動車）の適正管理

産業廃棄物の適正排出・リサイクルの促進

事業活動に適用される環境関連法規その他要求事項を遵守する

関連法規等の”見える化”　関連法規等一覧、法改正などの対応

顧客価値、社内価値、企業価値を高め、ブランド価値向上に邁進する

マツダ車の価値、東北マツダの価値の遡及

お車の維持管理といただく為パックdeメンテの販売と入庫促進

環境保全上の支障を未然に防止する為、使用する化学物質の適正管理を徹底する

鈑金塗装で使用する塗料・溶剤の適正管理と集計表を用いた管理を行う

限りある資源を大切にする為、省資源・節水に努める

会議資料の電子化によるペーパーレス化促進

働き方改革と環境負荷低減を両立して好循環化を推進する

定時退社日を促進しながら就業時間外の労働軽減に努める

労働生産性向上の為、業務の効率化を促進する

地域貢献活動により地域社会との融和を図る

各店舗の地域に合った地域貢献活動を実施する

全従業員に、この環境経営方針を周知徹底する

環境意識向上の為、会議・ミーティング等を利用し教育を行う

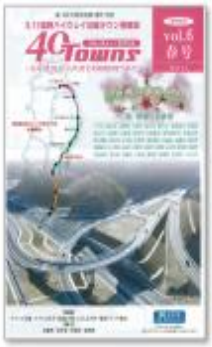
6．2025年　トピックス①【社会貢献活動など】

① 地域貢献

～地域に根ざし、共に歩む企業としての責任を果たす～

【都南店】
子育て応援サービス事業への登録
登録名称『赤ちゃんの駅DAKKO』





東日本大震災復興・創生支援
3.11復興ハイウェイ沿線 タウン情報誌
『40Towns』への協賛

② 災害支援

～災害時にも、地域を支える存在であるために～



郡市長からのコメント
「軽油はガソリンと比較
して課びやすいので、災害時での
機動力が高まる。
もしもの時、連携できる関係を
もってくれたことに感謝したい。」

池田社長より
「仙台市民のために貢献したい、
交通事故防止だけでなく、
今後は防災にも力をいれたい」



当社では、地域や社会への貢献をこれからも大切にしていきたいと考えています。
これまでの活動を全社員で共有することで、店舗ごとにできる取り組みを広げていくきっかけとしたいと考えています。

③ 安全

～安心・安全な社会の実現に貢献するために～



「信号機のない横断歩道での車の維持停止率向上」
に向けての啓発キャンペーンの企画協賛



みやぎ交通死亡事故ゼロ
キャンペーンへの協賛

④ 人材育成

～未来を担う人材の育成と地域社会の成長に寄与するために～

高校生 インターンシップ

【米沢店】山形置賜農業高等学校 よりインターンシップ受け入れ

小中高校生、支援学校生 職業体験

【秋田本店】秋田市立桜中学校 より職場体験受け入れ

【六丁目店】仙台市立七郷中学校 より職場体験受け入れ

【長町店】宮城県立支援学校岩沼高等学園 より職場体験受け入れ

【その他複数店舗】各県内 小中高等学校 より職場体験受け入れ

当社では、地域や社会への貢献をこれからも大切にしていきたいと考えています。
これまでの活動を全社員で共有することで、店舗ごとにできる取り組みを広げていくきっかけとしたいと考えています。

6． 2025年 トピックス② 【社会貢献活動など】

⑤ その他の貢献活動

～地域社会との多様なつながりを大切にし、幅広く支援を行う～

地域のスポーツ・文化活動への参加や協賛



『劇団わらび座』との
オフィシャルスポンサー契約



『秋田竿燈まつり』へ
東北マツダとして参加
（今年度より）

花壇自動車大学校様 への車両貸与 （花壇自動車大学校HPより）



当社では、地域や社会への貢献をこれからも大切にしていきたいと考えています。
これまでの活動を全社員で共有することで、店舗ごとにできる取り組みを広げていくきっかけとしたいと考えています。

東北マツダの 社会貢献活動　2025年度 直近の取組み

MAZDA FAN FESTA 2025 IN TOHOKU にて行われた
大船渡林野火災チャリティにおいて、売り上げた金額を大船渡市に義援金として寄付



令和7年
大船渡林野火災チャリティのご報告とお礼

株式会社東北マツダ・株式会社福島マツダ・青森マツダ自動車株式会社は、
4月5日（土）・4月6日（日）に開催しましたMAZDA FAN FESTA 2025 IN TOHOKUの
大船渡林野火災チャリティにおいて、以下の金額を義援金として寄付いたしました。

大船渡災害義援金 464,500円

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。
大船渡市の一日でも早い復興をお祈り申し上げます。









7－1．環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

■二酸化炭素排出量　〇

目標	3,00,477kg-CO2
実績	1,588,011kg-CO2
結果	1,287,534kg-CO2　達成

【結果・要因】
エネルギー使用量は
電力・プロパン・軽油の使用量については、減少した。
・電力使用量(kWh)　〇
・都市ガス(Nm³)　－
・プロパンガス（m³）　△
・灯油使用量（ℓ）　〇
　暖房の電気化や暖冬により、若干の暖房用の灯油使用量が減少したと思われる。
・ガソリン使用量（ℓ）　△
　経費削減効果により、Webによる会議などで出張や移動を極力少なくした。
・軽油使用量（ℓ）　〇

■廃棄物排出量　〇
（目標733,507kg、実績612,101kg、結果121,406kg達成）
【結果・要因】
整備入庫台数に若干の減少、一部車両の供給遅れによる納車台数減が原因で、
廃棄物排出量の減少につながったと考えられる。

■水使用量　〇
（目標16,015m³、実績17,515m³、結果1,500 m³未達成）
【結果・要因】
来店型促進による、洗車増加などが要因と考えられる。

■働き方改革（残業時間）　△
（目標：総残業時間49,823時間/年　　１人当残業時間99.3時間/年
　　実績：総残業時間111,222時間/年・１人当残業時間183時間/年）
【結果・要因】　×
目標未達成となりました。
1人当り月約69分の増加になったが、人員減傾向で生産性確保の為の労働時間増加分と考えられる。

7 -2. 環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

●化学物質の適正管理

結果

3箇所の塗装を行う工場にて、取扱量を把握し、適切に管理を行っております。

秋田事業部　秋田板金塗装センター：指定量以下

宮城事業部　宮城板金塗装センター：指定量以下

山形事業部　山形板金塗装センター：指定量以下

■次年度以降の取組

◎二酸化炭素排出量	現在実施している取組を継続、売上とのバランスを考慮する
◎水使用量	現在実施している節水の取組を再徹底する
◎廃棄物排出量	現在実施している取組を継続、売上とのバランスを考慮する
◎労働時間の適正化	定時退社日等を促進し残業時間圧縮をする
○化学物質適正管理	現在実施している取組を継続する

8．環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無

環境関連法規等		評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律		○
・廃棄物の適正処理	認可業者に廃棄物処理を依頼している	
・マニフェストの管理	期限内にマニフェストがそろっている	
自動車リサイクル法		○
・使用済自動車（ＥＬＶ車）の適正処理	ＥＬＶ車を預かった際、適正に処理している	
・引取事業者の登録	引取業者登録をしている	
浄化槽法		○
・保守点検 ・清掃記録	年１度以上の保守点検・水質検査をしている	
騒音規制法		○
・特定施設の届出 （エアコンプレッサ）	該当施設は届出している （法令・条例以上のもの）	
振動規制法		○
・特定施設の届出 （エアコンプレッサ）	該当施設は届出している （法令・条例以上のもの）	
消防法		○
・少量危険物の届出（貯蔵所、取扱書）	該当施設は届出している （法令・条例以上のもの）	
エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律		○
・エネルギー使用量の把握（省エネ法）	エネルギー使用量を把握している	
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法・ＰＲＴＲ法）		○
・特定化学物質の排出量・移動量の把握 ※第一種指定化学物質の年間取扱量指定値以上の事業所は届出対象	該当拠点は届出している	
水質汚濁防止法		○
・特定施設の届出 （自動式車両洗浄施設）	該当施設は届出している	
大気汚染防止法		○
・局所排気装置の施設の届出 ・VOC排出状況の把握、抑制	該当施設は届出している	
フロン排出抑制法		○
・適正なフロン回収と処理 ・業務用空調機の簡易点検と有資格者による定期点検	該当施設は届出・点検している	
下水道法		○
・特定施設の届出 （自動式車両洗浄施設）	該当施設は届出している	

●違反・訴訟の有無

自己評価の結果、環境関連法規等に違反はなく、また過去３年間、関係機関からの処分も受けておりません。
同様に訴訟等についても、１件もありませんでした。

9．代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の評価と見直し結果の記録

見直し年月日	2026 年 5 月 10 日　日曜日（時間 17：30～18：00）
場　所	株式会社東北マツダ　本社会議室
出席者	太田社長　　駒田　村上
見直し結果	下記のとおり

	点検項目	環境管理責任者の説明概要，提案等　参考資料
見直し関連情報	環境目標及び達成状況	参考資料：CO2 排出量シート、環境への負荷の自己チェックシート等
	環境活動計画及び実施状況	働き方改革（2025 年度残業時間.xls　追加資料：時間外手当調査シート 2025）
	環境関連法規の遵守状況	参考資料：法令チェックシート等
	外部からの苦情・要望関連事項	該当なし
	是正及び予防処置の状況	該当なし
	内部監査結果	参考資料：2025 年度が未実施のため無し
	前回までの代表者指示事項への対応	参考資料：特に展開無し
	その他	

	点検項目	見直し要否	代表者による指示事項
代表者による全体評価と見直し	環境方針	要（否）	特になし
	環境目標	要（否）	特になし
	環境活動計画	要（否）	特になし
	環境関連法規の遵守	要（否）	特になし
	実施体制	要（否）	特になし
	苦情・要望対応	要（否）	特になし
	その他	要（否）	特になし

（代表者の総合評価・コメント）　（環境経営システムの有効性，環境への取組の適切性等）

2025 年度も物価高騰や輸送費高騰などの自動車業界は懸念材料も多く取り巻く環境は厳しいものとなっております。このような環境だからこそ、業務品質水準の向上、労働環境改善、業務継続性強化を行うことは必須と考え、環境目標としても働き方改革に取り組むことを継続し、今後も取組を進めるべく推進していきます。

承　認	確　認	記録作成
（代表者）	（環境管理責任者）	（環境管理事務局）